

6 がっ くれよん うみ組

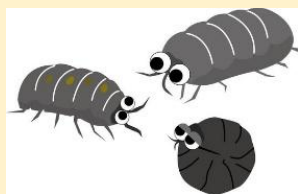
気温・湿度ともに上がり、汗ばむ季節になってきました。雨の多い時期ではありますが室内でも体操や集団遊びを通じて体を動かして楽しく過ごしていきたいと思います。着替えをする回数も増えることが考えられるので半袖の準備などロッカーの中の見直しをお願い致します。今月は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の中から、【自然との関わり・生命尊重】についてご紹介します！



【自然との関わり・生命尊重】

具体例：生き物と共に遊んだり、世話をしたりする中で、生命の不思議さや尊さに気づき、命あるものとして大切にする気持ちを持って関わる。

ダンゴムシを観察しよう



ダンゴムシやテントウムシは何を食
べるのかな？
【葉っぱはどうか？】【アリも食べる
よ！？】

疑問？

飼育

図鑑・本で
調べて観察



【葉っぱの下を探そう！】
【ほんとにニンジン食べて
る！】

子どもの声

子ども達の変化した姿

① ダンゴムシがより好きに！苦手だった子も興味を持つように！

ダンゴムシのオス・メスの区別の仕方を知っていますか？子ども達は区別の仕方を本で見てから、背中に模様があるのか、ないのかだけで分かるように！苦手だった子も本を見たり、触っている友達をみて触って「かわいいかも」との声も＝興味関心の広がって更に自分なりの考えも大人や友達に伝えるようになりました☆

② 【虫の命】に対しての考え方に変化が・・・！

【葉っぱの下にいるよ！】とどんな所に住んでいるのかを本で得た知識を生かして散歩先で探すと・・・なんと、50匹以上も捕まえる事に成功！捕まえた後は【優しく触らないと可哀そうだよ】【ママに会えなくなるから逃がしてあげようか】【ダンゴムシさんが遊べるような石や木を探そう！】などダンゴムシの気持ちを考えた声や行動が見られました＝尊いの気持ちの芽生えが見られました。

この体験から、子ども達が身近な動植物の命を大切にする事、また、わからない事は調べる☞学ぶこのような流れが習慣になるように、過ごしていこうと思います。